

# 葛城市景観まちづくりワークショップの結果概要

## 1. 景観まちづくりワークショップの開催概要

### (1)開催目的

景観を大切にするまちづくりを進めるためには、多くの市民の方々の理解と協力を得ながら、良好な景観を守り、つくっていくための取組が望まれます。

景観を大切にするまちづくりのあり方について、市民が大切にしたい景観や、本市の景観の課題を把握するとともに、住民が身近な景観の良さを再認識・再発見し、景観に対する市民意識の高揚を図ることにより、景観まちづくりに繋げることを目的としてワークショップを開催しました。

### (2)開催状況

開催案内は、市広報やホームページに掲載するとともに、各区長に開催案内し、延べ47人に参加していただきました。

#### ● 開催状況

| 開催日時                             | 場所     | 参加人数 |
|----------------------------------|--------|------|
| 平成 31 年1月 26 日(土)<br>10:00~12:00 | 當麻文化会館 | 26人  |
| 平成 31 年2月2日(土)<br>10:00~12:00    | 中央公民館  | 21人  |
|                                  |        | 47人  |

### (3)開催内容

景観を大切にするまちづくりや景観計画の策定について学識経験者及びまちづくりコンサルタントより説明をした後、3グループに分かれて景観を大切にするまちづくりに関する設問について地図を用いて意見交換を行いました。

#### 1)学識経験者及びまちづくりコンサルタントより説明

○景観を大切にするまちづくりについて

#### 2)意見交換

○景観を大切にするまちづくりに関する設問

●次世代の子ども達に残したい景観、改善したい景観

●景観を残していくために必要なこと

#### 3)全体発表(グループ代表者)

#### 4)有識者より総括コメント

## ● ワークショップの様子

### 當麻文化会館



### 中央公民館



## 2. ワークショップの意見とりまとめ

### (1) 次世代の子ども達に残したい景観は？ \_\_\_\_\_

・次世代の子ども達に残したい景観についての主な意見は以下のとおりです。

- |                              |
|------------------------------|
| ①市民のこころの心象風景となる山々の景観         |
| ②山裾に広がる農村集落と広大な田園が織りなす里山景観   |
| ③古代官道の趣を残す竹内街道と集落の景観         |
| ④伝統的なイベントや地元に根付いた歴史ある社寺仏閣の景観 |
| ⑤子どもたちで賑わう緑豊かな大きな公園の景観       |
| ⑥桜並木で人々を魅了する葛城川の景観           |

- ・二上山や葛城山など山々を背景とした田園が大切にしたい景観として最も多くあがりました。
- ・社寺仏閣や日本遺産に指定された竹内街道とその街並みが本市の重要な景観要素として大切な景観となっています。
- ・緑豊かな公園は、公園自体も大切な景観要素となっていますが、奈良盆地や大和三山を眺める視点場としても活用されています。
- ・主な視点場については以下の意見があげられました。

| 対象                   | 視点場                                                |
|----------------------|----------------------------------------------------|
| 二上山                  | 能谷川橋南の交差点、孝女伊麻旧跡<br>など                             |
| 葛城山                  | 視点場：置恩寺、屋敷山公園、白光田池堤、山麓公園<br>など                     |
| 大和三山                 | 寺口駐車場<br>など                                        |
| 見下ろす景色<br>(奈良盆地や夜景等) | 二上山、二上ふるさと公園、ゆうあいステーション、兵家浄水場、しあわせの森公園、寺口駐車場<br>など |

## (2)改善したい景観は？ \_\_\_\_\_

・改善したい景観についての主な意見は以下のとおりです。

|                             |
|-----------------------------|
| ①田園地域の開発                    |
| ②無計画に設置されたソーラーパネル           |
| ③色あせ管理されていない看板やポスター         |
| ④野積された産業廃棄物                 |
| ⑤耕作放棄地や歩道の生い茂った雑草           |
| ⑥ゴミのポイ捨てなどによる葛城川の河川空間のゴミや汚染 |

・改善したい景観としては、次世代に残していきたい景観の阻害となるような無計画な開発やソーラーパネルの設置などが最も多く意見としてあげられました。

・産業廃棄物やゴミのポイ捨てなどモラルやマナーといった点も景観を阻害する大きな要因となっているとの声が多くあげられました。

## (3)景観を残していくために必要なことは？ \_\_\_\_\_

・美しい景観を残していくための方法については、「市民の意識啓発」、「ルールづくり」、「土地の活用」、「美化清掃活動」、「獣害対策」などがあげられました。

・取組の内容・目的と具体的な対策については以下のとおりです。

| 取組み内容   | 取組みの目的                                                             | 具体的な対策                                               |
|---------|--------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 市民の意識啓発 | 地域単位で市民が主体的な意識を持つ事が大切なため、移住して来た人も巻き込み、葛城市を知ってもらう、好きになってもらう活動に取り組む。 | ・教育<br>・ワークショップ(まち歩きなど)<br>・周知(SNS、広報、おすすめスポットの紹介など) |
| ルールづくり  | 山麓や公園の周りに高い建物を建てないなど乱開発による景観の乱れを防ぐ。                                | ・建物の高さや色などの規制                                        |
| 土地の活用   | 耕作放棄地など、使われなくなった土地を活用する。                                           | ・土地活用の制度づくり<br>・後継者育成<br>・市民農園                       |
| 美化清掃活動  | 見晴らしが良い眺望景観を守る。                                                    | ・木の伐採<br>・美化清掃活動                                     |